

基本目標		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課					
I あらゆる分野への男女共同参画の促進	施策の方向	◆審議会等の改選時における女性委員の推薦について、全課を対象に小牧市女性人材バンクの積極的な活用を促し、女性委員の登用について働きかけた。(平成30年6月,平成31年3月)						事業費	◆引き続き、女性人材バンクを周知し、利用を促すとともに、登録人員の充実を図り、女性委員0の審議会等の減少や重複委員の減少に努める。	審議会等附属機関への女性登用率	まなび創造館	
	1 政策・方針決定の場における男女共同参画の推進	【審議会】	30年度	29年度	28年度 (4月1日現在)	予算(H31)						
	①審議会等での男女共同参画の推進	女性委員	190人	181人	217人	0						
		総委員	678人	668人	821人							
具体的施策	各種審議会等に女性委員の積極的な登用を図り、女性がいらない委員会等を解消するとともに、女性の参画比率が2021年(平成33年)を目標年度に33%を達成できるよう努めます。	【行政委員会】	30年度	29年度	28年度	決算(H30見込)						
		女性委員	5人	3人	3人							
		H30年度実績評価・31年度の課題等		◆委員の改選時期となる3月に女性委員の登用を働きかけた。 ◆年1回の働きかけでは、現状は変わらないと考えられたため、H30年度は6月にも働きかけた。女性人材バンクを活用しやすいよう、工夫する。		H30実績	男女共同参画の視点					
						28.1(%)						
						30.0%	H30					
						33.0(%)	C・E					
I あらゆる分野への男女共同参画の促進	施策の方向	◆各課からの審議会委員等の選任の依頼を受け、女性人材バンク登録者から推薦をしている。また、さまざまな分野において活躍している人材を女性人材バンクに登録するよう努めた。		事業費	◆女性の人材育成と発掘に努める。 ◆女性人材バンク登録者の活用を促すとともに、引き続き、女性人材バンクの充実に努め、新規登録者数を数値目標に設定する。	女性人材バンクの新規登録者数	まなび創造館					
	1 政策・方針決定の場における男女共同参画の促進	平成30年度(平成31年3月31日現在)39人 平成30年度新規登録者 6人 平成30年4月1日現在女性人材バンク登録者内審議会委員 15人		予算(H31)								
	②女性の人材の育成と能力開発			0								
		H30年度実績評価・31年度の課題等						決算(H30見込)				
具体的施策	市の各種審議会等に参画できる女性の人材の育成と発掘、幅広い分野への女性の社会参画を図るため、女性人材バンクの活用を促進し、多様な人材の確保に努めます。	◆女性人材バンクの登録者についても高齢化がいなめない。審議会によっては、世代交代を図るようなものもあり、登録者の若返りも必要である。平成30年度は、講座の講師や講座受講者にも登録を呼びかけることにより、人材の確保に努められたため、引き続き、平成31年度も呼びかけを行うこととする。		0		H30実績	男女共同参画の視点					
						6	H30					
						5	A					
						2(人)→5	A					
I あらゆる分野への男女共同参画の促進	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績		事業費	重点目標	数値目標	所管課				
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	新区長選任と併せて、自治会(区)役員における女性登用状況を調査する。	◆女性区長の数 4名/129名(前年度比:-3名) ◆地域協議会における女性役員の数 《篠岡小学校区地域協議会》《小牧原小学校区地域協議会》 女性役員 1名/9名 女性役員 3名/18名 《大城小学校区地域協議会》《本庄小学校区地域協議会》 女性役員 2名/5名 女性役員 2名/6名		事業費				自治会(区)役員における女性登用率の向上	自治会(区)役員における女性登用状況を調査したところ、男女を問わず、役員自体を確保することが難しい現状であった。そのため、具体的な数値目標を設定することが難しい状況にあるが、女性登用率向上のための働きかけを検討し、区に働き掛けていく。	協働推進課	
	①地域活動等における男女共同参画の促進	H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等								予算(H31)
		◆自治会役員に女性を登用している区の割合 ・副区長 16.3%(21区/129区) ・会計 16.3%(21区/129区) ・書記 10.9%(14区/129区) ・総務 4.7%(6区/129区) ◆各役員総数に対する女性役員の割合 ・副区長 17.3%(28名/162名) ・会計 22.3%(23名/103名) ・書記 26.9%(18名/67名) ・総務 27.3%(6名/22名)		◆自治会(区)役員における女性の参画状況について把握した。 自治会によって役員の種類や数が様々であることや役員の中には本人以外の家族が役割を担っている事例もあることから、女性の自治会役員への登用について把握することが難しい状況であることがわかった。 自治会は地域が主体となり、自主的な運営がされる組織であること、また、男女問わず、地域の役員選出に苦慮している自治会もあることから現状として、市が自治会に対し、役員の登用について指導することは望ましくない。								0
具体的施策	地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	男女共同参画の視点					
							◆自治会活動マニュアル(平成31年度版)等を活用して女性登用について啓発を行う。	H30				
							H31					
							B・F					

基本目標		実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
	施策の方向	◆まなびあいやふれあいの活動を通じたささえあいの地域づくりを推進し、市内66区で活動が行われた。各区の役員982名のうち、393名の女性役員が活動した。		(千円)	◆まなびあいやふれあいの活動を通じた地域づくりを推進する。		—	生涯学習課	
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進			予算(H31)			基準値		
	①地域活動等における男女共同参画の促進			地域3あい事業: 11,910			—		
具体的施策	地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)			H30実績	男女共同参画の視点	
		平成30年度は約40%の女性役員に地域活動に携わってもらうことができた。引き続き男女が参加しやすい環境づくりに努める。		地域3あい事業: 11,037			H31目標(実績)	H30	
							目標値(H33)	H31	
							—	B・F	
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
	施策の方向	◆女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施した。		(千円)	◆引き続き、女性問題の解決と女性の地位向上についての推進を図るため、ウィメンズネットこまきに女性活動推進事業を委託し、事業を実施する。		ウィメンズネットこまきの加入団体数	まなび創造館	
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	・男女共同参画フォーラム in こまき&ワイワイっとまつり(256人、406人参加) ・先進地視察研修会(ウィメンズネットこまき28人参加、いなざわウィルネット15人参加・稲沢市役所) ・グループ企画研修会(4回開催 45人・90人・43人・41人参加) ・ウィメンズネットこまき研修会(1回開催) ・情報誌Windの発行(2回発行) ※普及員項目についてはⅢ-1-①へ移動		予算(H31)			基準値(H25)		
	①地域活動等における男女共同参画の促進			女性活動推進事業: 2,961			14(団体)		
具体的施策	地域活動等の方針決定の場に女性が参画できるよう、女性の役員登用を積極的に行うよう働きかけます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)			H30実績	男女共同参画の視点	
		◆構成員が子育て期の若い団体の加入があった。一方、団体構成員の高齢化に伴い、活動が停滞する団体があり、減少した。今後も、活動が停滞する団体が多く、加入団体は減少すると考えられる。		女性活動推進事業: 2,559			12(団体)	H30	
		◆加入団体を増やすために、加入しやすいネットワークづくりに取り組んでいく。また、HPやFBを使い、構成員の若い団体の目にとまりやすくし、加入につながるように工夫していく。					目標値(H33)	H31	
							17(団体)	E	
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
	施策の方向	◆地域のボランティアの強化・育成・ネットワーク拡充		(千円)	◆引き続き、地域福祉推進に必要なボランティア活動環境を整備する。		—	福祉総務課	
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	・ボランティア連絡会(代表者会:2回、地区合同:2回) ・ボランティアリーダースクール(1回、参加者48名) ・ボランティア勉強会(3回、参加者90名) ・ジュニア奉仕団活動294件、ココボラ活動件数120件 ・災害ボランティア支援センター立上げ訓練(参加者163名)		予算(H31)			基準値		
	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進	◆福祉教育活動の推進 ・福祉実践教室の開催(参加者:16校、児童・生徒1,660人、ボラ251人)高齢者疑似体験、車イス体験など ・中高生福祉体験学習(参加者91名)		ボランティア活動等助成事業 9,600千円			—		
具体的施策	子どもから高齢者まで、男女がともにボランティア活動等の地域活動に参加できる環境づくりに努めます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)			H30実績	男女共同参画の視点	
		社会福協議会ボランティアセンターに登録している団体の支援及び学校からの協力により福祉活動の啓発・意識醸成を図る機会を持つことができた。		ボランティア活動等助成事業 9,000千円			H31目標(実績)	H30	
		今後も、地域福祉活動、ボランティア活動を行うきっかけとなる機会の提供と継続するための支援を進めていく必要がある。					目標値(H33)	H31	
							—	B	

基本目標		実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課	
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課			
	施策の方向	◆まなびあいやふれあいの活動を通じたささえあいの地域づくりを推進し、市内66区で活動が行われた。各区の役員982名のうち、393名の女性役員が活動した。		(千円)	◆まなびあいやふれあいの活動を通じた地域づくりを推進する。		—	生涯学習課			
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進			予算(H31)			—				
	②団体・グループ活動における男女共同参画の促進			地域3あい事業: 11,910			基準値				
具体的施策	子どもから高齢者まで、男女がともにボランティア活動等の地域活動に参加できる環境づくりに努めます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)			H30実績	男女共同参画の視点			
		平成30年度は約40%の女性役員に地域活動に携わってもらうことができた。引き続き男女が参加しやすい環境づくりに努める。		地域3あい事業: 11,037			H31目標(実績)	H30			
							—	B・D・F			
							目標値(H33)	H31			
							—	B・D・F			
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		重点目標		数値目標	所管課		
	施策の方向	各種防災訓練を実施する際に、女性の視点を取り入れた避難所運営等を実施することが重要であることを説明し、地元区において防災に関するイベントや打合せがある際には女性に積極的に参加するよう呼び掛ける。		◆小牧防災リーダー会との協働事業で開催する講座にて引き続き、防災意識の啓発支援を行った。 ◆小中学校、各自主防災会等を対象に、全42回の講座を実施。 平成30年度実績 42回 (内訳) 自主防災会など 37回 小・中学校5回 (内容) 避難所運営ゲームHUG 5団体、災害図上訓練DIG 2団体、非常持出品ゲーム 10団体、家具固定講座 3団体、防災講話 12団体、その他 10団体		小牧防災リーダー会との協働事業で開催する講座について、女性の参加を促し、女性の視点を取り入れた防災体制を構築できるように働きかける。		小牧防災リーダー会との協働事業で開催した女性の割合	危機管理課		
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		平成31年度 重点目標取組内容		基準値(H28)			
	③防災等の場における男女共同参画の推進	各種防災訓練に女性の参加を促し、各自主防災会等において女性の視点を取り入れた防災体制を構築できるように、運営班へ女性委員の選出を促すなど働きかけた。		◆平成30年度の各種防災訓練への女性の参加率が38%であった。平成31年度も継続して女性の視点が必要であることを説明し、防災に関するイベントに女性に積極的に参加してもらうよう働きかけを行う。		各種防災訓練を実施する際に、女性の視点を取り入れた避難所運営等を実施することが重要であることを説明し、地元区において防災に関するイベントや打合せがある際には女性に積極的に参加するよう呼び掛ける。		20(%)			
具体的施策	地域での自助、共助能力向上と防災意識の高揚を図るため、男女共同参画の視点にたった事業の継続、発展に努めます。			決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績	男女共同参画の視点			
					継続して各種防災訓練に女性の参加を促し、各自主防災会等において女性の視点を取り入れた防災体制を構築できるように働きかける。		38(%)	H30			
							H31目標(実績)	H30			
							40(%)	D・F			
							目標値(H33)	H31			
							50(%)	D・F			
基本目標	I あらゆる分野への男女共同参画の促進	H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		重点目標		数値目標	所管課		
	施策の方向	前年度検討したものを実践し、自助・共助の意識を持って訓練に参加できる環境づくりを推進する。 小学校区単位での地区防災訓練の実施を継続して推進する。		平成30年度は、市内129自主防災会のうち120自主防災会で地区防災訓練が実施され参加者は5,002人、うち女性が2,245人(44.9%)にのぼった。 また、平成30年も引き続き、指導者として女性消防団員も男性消防団員と同様に参加し、指導者として必要な知識の習得のため、定期的に消防職員による訓練会を実施した。		各地区、小学校区単位で実施される地区防災訓練に男女を問わず多くの市民が参加できる状態にする。		地区防災訓練実施に伴う女性の参加率	消防総務課		
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進	H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		平成31年度 重点目標取組内容		基準値(H28)			
	③防災等の場における男女共同参画の推進	小学校区単位での訓練の取り組みは、市内16小学校に対して15校の小学校区で実施された。年度当初の目標に大きく前進することができた。		前年度と比較し女性の訓練参加が若干減少したものの、目標に掲げた男女を問わず訓練に参加する取り組みは概ね達成された。次年度以降は、幅広い年齢層に訓練に参加できる取り組みを推進し、参加しやすい環境づくりに努めていく。		自助・共助の意識を持って訓練に参加できていたか検証をする。男女を問わず、子どもから高齢者まで訓練に参加するための取り組みを推進する。 小学校区単位での地区防災訓練の実施を継続して推進する。		47(%)			
具体的施策	地域での自助、共助能力向上と防災意識の高揚を図るため、男女共同参画の視点にたった事業の継続、発展に努めます。			決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績	男女共同参画の視点			
					市内、全16小学校区で地区防災訓練を実施し、避難所の設営・運営に重点をおいた訓練に取り組む。		44.9(%)	H30			
							H31目標(実績)	H30			
							50(%)	B・F			
							目標値(H33)	H31			
							50(%)	B・F			

I あらゆる分野への男女共同参画の促進		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課				
基本目標	施策の方向	実績	H30年度 重点目標取組内容実績 ◆愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科への1日入校 7月20日(金) 2名	◆平成30年度は重点目標を達成した。 平成31年度は女性消防クラブ指導者科への派遣を2名から9名に増員し実施する。	災害時、女性が活動できる知識・技術の習得及び他クラブとの情報交換を行うため、婦人消防クラブ員を年間2名から9名に増員して女性消防クラブ指導者科に派遣する。	女性消防クラブ指導者科入校	予防課				
	2 地域における活動や団体・グループ活動における男女共同参画の促進					◆婦人消防クラブ活動事業 ・大型店舗での防火広報の実施 11月3日(土) 3名 2月23日(土) 4名 ・普通救命講習会の実施 11月29日(木)16名、11月30日(金)10名 12月1日(土)8名、12月2日(日)7名 ・視察研修会の実施(名古屋大学減災館等) 2月15日(金) 20名		平成31年度 重点目標取組内容 未派遣地区のクラブ員を女性消防クラブ指導者科に入校してもらうよう働きかける。	基準値(H25)		
	③防災等の場における男女共同参画の推進					H30年度実績評価・31年度の課題等 ◆愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科への1日入校 7月20日(金) 2名		H31年度 実施予定事業 ◆愛知県消防学校女性消防クラブ指導者科への1日入校 11月1日(金) 9名	2(人)	H30実績	男女共同参画の視点
	具体的施策 地域での自助、共助能力向上と防災意識の高揚を図るため、男女共同参画の視点にたった事業の継続、発展に努めます。					H30年度実績評価・31年度の課題等 ◆平成30年度は重点目標を達成した。 平成31年度は女性消防クラブ指導者科への派遣を2名から9名に増員し実施する。		526	H31目標(実績) 9(人)	H30	A
						目標値(H33)	H31				
						9(人)	A				
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向	実績	◆女性活躍推進事業認定マーク「えるぼし」に関するチラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ホームページにて男女雇用機会均等法の周知に努めた。 ◆女性活躍推進法のチラシを商工振興課窓口にて配布した。	0	◆引き続き資料の配布を実施する。	—	商工振興課				
	1 働く場における男女平等の促進					H30年度実績評価・31年度の課題等 新聞やニュースに取り上げられる問題も多いため、今後も継続して周知に努める必要がある。		0	基準値		
	①男女の均等な雇用機会と待遇の確保								H30実績 —	男女共同参画の視点	
	具体的施策 男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。								H31目標(実績) —	H30	F
						目標値(H33)	H31				
						—	F				
II 男女が働きやすい環境の実現		その他 H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向	実績	◆経営者、人事担当者、管理職、一般社員を対象に、ハラスメントに対する理解や知識を深めることにより、ハラスメントを起こさせない健全な職場の環境づくりを目指すための講座を開催した。 ・ハラスメントのない職場づくり(1回 55人受講)	男女共同参画講座 開催事業: 4,842	◆企業啓発講座2講座	—	まなび創造館				
	1 働く場における男女平等の促進					H30年度実績評価・31年度の課題等 ◆企業に対し、講座の案内を行い、適切な運用を働きかけた。 ◆企業啓発講座を業務時間外に開催する。 ◆多くの人数を集めての講座は成立しにくい。ピンポイントでニーズのあるところを拾い、少人数で細かな市場を対象にすることを検討する。		男女共同参画講座 開催事業: 1,981	基準値		
	①男女の均等な雇用機会と待遇の確保								H30実績 —	男女共同参画の視点	
	具体的施策 男女雇用機会均等法、労働基準法等の趣旨の周知を図り、適切な運用を働きかけ、募集、採用、賃金、昇進等における男女平等の実現をめざします。								H31目標(実績) —	H30	C・E
						目標値(H33)	H31				
						—	C・E				

基本目標		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課	
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	実績	「小牧市 女性活躍推進のための特定事業主行動計画」に定められた具体的取組の推進(女性活躍推進研修の実施、ハラスメント相談窓口の設置に関する規程等を平成29年度末まで定め次年度から設置、フレックスタイム制・テレワークの検討等) 【平成32年度】「(仮称)第2期小牧市 女性活躍推進のための特定事業主行動計画」の策定	200	能力や適性を公正に判断したうえで女性職員を積極的に管理職に登用する。	課長職以上の女性の割合(一般事務職)	行政経営課	
	施策の方向							
	1 働く場における男女平等の促進							
	②市職員の男女平等の推進							
具体的施策	能力主義のもと、採用や昇任、昇格等における男女平等を推進します。また、男女ともに幅広い分野の職務を経験させ、管理職にふさわしい人材の育成に努めます。	H30年度 重点目標取組内容実績	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点	
		女性職員の仕事に対する価値観を醸成し、併せてマネジメント力の向上を目的に「女性活躍推進研修」を実施した。(H31.3.20実施、受講者14名) この他、ハラスメント相談窓口を平成30年4月1日に設置した。	平成30年度は、女性職員の管理職への登用を推進するとともに、女性活躍研修の実施やハラスメント相談窓口の設置を行った。平成31年度は、引き続き女性活躍研修を実施して人材育成を図るとともに、女性職員の管理職への登用を引き続き推進していく。	0	女性職員を対象に「女性活躍推進研修」を実施するとともに、ハラスメント防止を目的とした研修を実施予定。また、産業医の資格を持った「こころの健康相談員」を配置し、職員からの相談体制の充実を図る。	8.4(%)	H31目標(実績)	H30
						9.3(%)	目標値(H33)	H31
						10(%)		A
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	実績	愛知県と共同で開催している労働講座において、労働分野における関連法をテーマの一つとして取り扱い、周知を図る。	0	経営者、人事労務担当者、労働者それぞれに対して関連法、成功事例等の周知を図る。	労働講座受講者数	商工振興課	
	施策の方向							
	1 働く場における男女平等の促進							
	③非正規雇用者が働きやすい環境づくり							
具体的施策	パートタイマーや派遣労働者の就労条件向上のため、パートタイム労働法や労働者派遣法等の周知を図り、多様な形で就労できる環境づくりに努めます。	H30年度 重点目標取組内容実績	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点	
		愛知県と共同で開催した労働講座において、テーマを「活用しよう!助成金」「トラブルを防ぐ労務管理」とし、採用から退職までの様々な労務管理について周知を図った。	◆平成30年度においては助成金の活用方法や労務管理を取り扱い、周知を図ることができた。また、講座受講者数は目標をはるかに上回った。 ◆平成31年度においては近年問題となっている「パワハラ」をテーマとし、周知を図っていく。	0	◆引き続き資料の配布を通じて周知を行う。 ◆愛知県と共同で開催する労働講座において、パワハラをテーマとして取り扱う。	68(名)	H31目標(実績)	H30
						45(名)	目標値(H33)	H31
						45(名)		F
								F
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	実績	◆経営者、人事担当者、管理職、一般社員を対象に、ハラスメントに対する理解や知識を深めることにより、ハラスメントを起こさせない健全な職場の環境づくりを目指すための講座を開催しました。 ・ハラスメントのない職場づくり(1回 55人受講)	男女共同参画講座開催事業: 4,842	◆企業啓発講座2講座	—	まなび創造館	
	施策の方向							
	1 働く場における男女平等の促進							
	③非正規雇用者が働きやすい環境づくり							
具体的施策	パートタイマーや派遣労働者の就労条件向上のため、パートタイム労働法や労働者派遣法等の周知を図り、多様な形で就労できる環境づくりに努めます。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)			H30実績	男女共同参画の視点	
		◆企業啓発講座を業務時間外に開催する。 ◆多くの人数を集めての講座は成立しにくい。ピンポイントでニーズのあるところを拾い、少人数で細かな市場を対象にすることを検討する。	男女共同参画講座開催事業: 1,981			—	H31目標(実績)	H30
						—	目標値(H33)	H31
						—		C・E
								C・E

基本目標		実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		
	1 働く場における男女平等の促進	④起業家・自営業者に対する支援	◆創業の手引きや創業支援施設の案内チラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆通年開催している創業支援セミナーに加えて、子育てや介護等の理由で創業を諦めていた方に向けた創業セミナーを開催した。(総受講者37人、うち女性20人) ◆起業・会社設立支援補助金(25件申請、うち女性3件) ◆創業支援利子補給補助金(32件申請、うち女性6件)	(千円)	◆引き続き、資料の配布を通じて周知を行う。 ◆引き続き、セミナー及び補助金により起業を支援する。	—	商工振興課
				予算(H31)		0	
	具体的施策	自営業等で働く女性が、仕事と家事との区別なく働き続けることがないように、労働条件や待遇等の明確化を図るため、関係法令の周知等に努めます。また、起業に役立つ情報を提供し、起業に関する支援を行います。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	0	H30実績	男女共同参画の視点
		◆H30年度のセミナーの受講者数は、前年度と比較して大きく上回った。今後も引き続き、多くの方にセミナー及び補助金を活用していただけるよう周知に努めていく。		0	H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31
						—	F
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		
	1 働く場における男女平等の促進	④起業家・自営業者に対する支援	◆実施なし。	(千円)	◆講座等の実施を検討する。	—	まなび創造館
				予算(H31)		男女共同参画講座開催事業: 4,842	
	具体的施策	自営業等で働く女性が、仕事と家事との区別なく働き続けることがないように、労働条件や待遇等の明確化を図るため、関係法令の周知等に努めます。また、起業に役立つ情報を提供し、起業に関する支援を行います。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	0	H30実績	男女共同参画の視点
		◆実施なし。		0	H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31
						—	C・E
						—	C・E
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		
	1 働く場における男女平等の促進	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援	◆「あいち子育て女性再就職サポートセンター」チラシ1を商工振興課窓口にて配布した。 ◆ハローワーク春日井でのマザーズコーナーについて市HPでの掲載を継続して実施した。 ◆マタニティハラスメント防止のチラシを商工振興課窓口にて配布した。 ◆育児プランナー支援のチラシを商工振興課窓口にて配布した。	(千円)	◆引き続き資料の配布及びHP掲載を通じて周知を行う。	女性(25歳～44歳)の労働力率	商工振興課
				予算(H31)		0	
	具体的施策	働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するにあたり、就労支援策等に関する情報提供を行います。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	0	H27国勢調査	男女共同参画の視点
		今後も一人でも多くの女性が子育て、出産をしながら仕事ができるよう、引き続き周知に努めていく必要がある。		0	H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31
						66.0(%)	F

基本目標		実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課		
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課				
	施策の方向	◆相談時には子育て支援ガイドブックを配布するなど、子育て支援に関する情報について周知を図った。 ◆市広報に児童館の催し、ファミリーサポートセンター事業を随時掲載した。		(千円)	◆市広報掲載:引き続き児童館の催し、ファミリーサポートセンター事業を随時掲載していく。 ◆子育て支援ガイドブックを作成し、内容の充実を図る。		—	こども政策課				
	1 働く場における男女平等の促進	H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)			—	男女共同参画の視点				
	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援	子育て世代包括支援センターの開設により、ワンストップ窓口で情報収集がよりしやすくなった。		0	決算(H30見込)		—	H30実績				
具体的施策	働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するに当たり、就労支援策等に関する情報提供を行います。		0				—	H31目標(実績)		H30		
								—	目標値(H33)		H31	
								—	目標値(H33)		B・F	
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課				
	施策の方向	◆ひとり親家庭の自立支援や出産や育児を期に離職した女性に対する再就職支援のための講座を開催した。 ・人生を変える仕事 ～整理収納アドバイザーになるために～(全3回 44人受講) ・女性のための就労支援パソコン講座(初級)(全3回 15人受講) ・女性のための就労支援パソコン講座(中級)(全3回 12人受講) ◆女性の再就職支援のため、ママ・ジョブ・あいちの出張相談を、開催した。 2回(8人利用)		(千円)	◆引き続き、経済的困難な状況にある女性を対象に就労支援講座を実施する。 ◆引き続き、育児や介護等で離職した女性の再就職支援のため、ママ・ジョブ・あいちの出張相談を開催する。		就労支援講座の実施	まなび創造館				
	1 働く場における男女平等の促進	H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)	男女共同参画講座開催事業: 4,842		基準値(H25)	男女共同参画の視点				
	⑤育児・介護等を理由とする離職者に対する再就職支援	◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 ◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。		男女共同参画講座開催事業: 1,981	決算(H30見込)		2(講座)	H30実績				
具体的施策	働きたい女性への子育て支援や経済的支援策の情報の提供、結婚や出産等で退職した女性が再就職を希望するに当たり、就労支援策等に関する情報提供を行います。		0				3(講座)	H31目標(実績)		H30		
								4(講座)	目標値(H33)		H31	
								2(講座)	目標値(H33)		C	
								—	目標値(H33)		C	
基本目標	II 男女が働きやすい環境の実現	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課				
	施策の方向	◆ワーク・ライフ・バランス啓発冊子・リーフレットを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンのポスター掲示により周知に努めた。 ◆小牧市HPにて仕事と生活の調和推進(ワーク・ライフ・バランス)のHPを紹介、周知に努めた。		(千円)	◆引き続き資料の配布、市の広報及びHPを通じての周知を行う。		—	商工振興課				
	2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現	H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)			—	男女共同参画の視点				
	①ワーク・ライフ・バランスの普及と理解の促進	ワークライフバランスの普及と促進をしていくことでうつ病等の防止にもつながる為、今後も引き続き周知に努めていく。		0	決算(H30見込)		—	H30実績				
具体的施策	関係機関と協力して、ワーク・ライフ・バランス実現への取り組みや両立支援策等に関して、男女平等推進情報誌等を通して情報提供を行います。		0				—	H31目標(実績)		H30		
								—	目標値(H33)		H31	
								—	目標値(H33)		F	
								—	目標値(H33)		F	

基本目標		実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課	
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課	
施策の方向		◆実施なし。		(千円)		◆引き続き、関係機関・団体との協力を通して、情報提供を行う。		—		まなび創造館	
2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現				予算(H31)				—			
①ワーク・ライフ・バランスの普及と理解の促進				男女共同参画推進事業:9,634				基準値			
具体的施策		関係機関と協力して、ワーク・ライフ・バランス実現への取り組みや両立支援策等に関して、男女平等推進情報誌等を通して情報提供を行います。		H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績		男女共同参画の視点	
		◆女性の社会的地位の向上及び社会参画の促進を市民の方々に理解を促すため、男女共同参画情報誌「かすたねっと」を発行する。		0				H31目標(実績)		H30	
		◆情報提供のみでなく、関係機関と協力して、男女共同参画情報誌の作成を行う。						—		A	
								目標値(H33)		H31	
								—		A	
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課	
施策の方向		◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動(市HP掲載)を継続して行った。		(千円)		◆引き続き資料の配布を通じて周知を行う。		—		商工振興課	
2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現		◆「あいち仕事と生活の調和行动計画」を商工振興課窓口にて配布した。		予算(H31)				—			
②事業所等への啓発と取り組みに対する支援				0				基準値			
具体的施策		仕事と家庭の両立を支援しているファミリーフレンドリー企業の顕彰や、男女共同参画に関する企業の取り組み状況等の調査及び、その情報提供等を通じて、企業の取り組みを促します。		H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績		男女共同参画の視点	
		個人だけではワークライフバランスは為しえないため、企業にも取り組んでいただけるよう今後も周知に努めていく必要がある。		0				H31目標(実績)		H30	
								—		F	
								目標値(H33)		H31	
								—		F	
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課	
施策の方向		◆実施なし。		(千円)		◆企業啓発講座2講座		—		まなび創造館	
2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現				予算(H31)		◆引き続き、関係機関・団体との協力を通して、情報提供を行う。		—			
②事業所等への啓発と取り組みに対する支援				男女共同参画推進事業:9,634		◆第53号男女共同参画情報誌「かすたねっと」にて「あいち女性輝きカンパニー」に認定された市内企業と協力して女性の働き方を紹介する。		基準値			
具体的施策		仕事と家庭の両立を支援しているファミリーフレンドリー企業の顕彰や、男女共同参画に関する企業の取り組み状況等の調査及び、その情報提供等を通じて、企業の取り組みを促します。		H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績		男女共同参画の視点	
		◆企業啓発講座を業務時間外に開催する。		0				H31目標(実績)		H30	
		◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。						—		C・E	
		◆情報提供のみでなく、関係機関と協力して、男女共同参画情報誌の作成を行う。						目標値(H33)		H31	
								—		C・E	

II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	—	こども政策課
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現		◆こども自然体験活動事業 ①親子でじゃがいもづくり 3～6月に開催。親子80組参加。 ②身近な自然観察 7月、9月、11月に開催。親子26組参加。	予算(H31)				
	③家庭における男女共同参画の推進		◆こども自然体験活動事業 事業: 3,688	決算(H30見込)	—	基準値	—	
具体的施策	夫婦や親子での参加も含め、男性が参加しやすい学習機会やプログラムを充実させることで、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績	男女共同参画の視点
		長年実施している事業であるため、今一度事業の実施・運営について見直しが必要となっている。		こども自然体験活動事業: 2,732	H31年度 実施予定事業		H31目標(実績)	H30
					H31年度 実施予定事業		—	B・F
					H31年度 実施予定事業		目標値(H33)	H31
					H31年度 実施予定事業		—	B・F
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	—	まなび創造館
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現		◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・男の魅力アップ講座(清掃編)(1回 18人受講)(片づけ編)(1回 13人受講)(洗濯編)(1回 14人受講) ・父と子で楽しむ料理講座(前期)(全3回 8組受講)(後期)(全3回 8組受講) ・割烹料理人が教える!!男の和食講座(全5回 20人受講) ◆家事負担軽減及び子どもの生活自立支援とし講座を開催した。 ○男女共同参画講座 ・夏休み宿題講座(全3回 20人受講)	予算(H31)				
	③家庭における男女共同参画の推進		◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 ◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。	決算(H30見込)	—	基準値	—	
具体的施策	夫婦や親子での参加も含め、男性が参加しやすい学習機会やプログラムを充実させることで、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績	男女共同参画の視点
		H30年度実績評価・31年度の課題等		男女共同参画講座開催事業: 1,981	H31年度 実施予定事業		H31目標(実績)	H30
					H31年度 実施予定事業		—	C
					H31年度 実施予定事業		目標値(H33)	H31
					H31年度 実施予定事業		—	C
II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容			事業費 (千円)	重点目標		子育て・介護と仕事の両立のための支援が充実していると 思う市民の割合
	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現	◆介護サービスの周知を図るために、サービス事業者連絡会と共同で介護展を開催した。(平成30年6月17日(日)) ◆介護サービス事業者の質の向上を図るために、介護相談員が介護サービス事業所を訪問し、利用者の相談に応じた。(769回訪問) ◆介護サービス事業者の質の向上を図るために、介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して研修を実施した。(31回、123人参加) ◆広報への記載、市ホームページによる案内、ガイドブックやいきいきファイルの作成・配布、出前講座等により情報提供を行った。		予算(H31)		平成31年度 重点目標取組内容 介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して研修を実施する。		
	④仕事と育児・介護等との 両立支援策の充実	H30年度 重点目標取組内容実績		サービス事業者振興事業等: 9,747	平成31年度 重点目標取組内容		46.4(%)	—
具体的施策	育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要なときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。	◆介護展を開催した。 ◆介護相談員を介護サービス事業所に派遣した。 ◆介護支援専門員や介護サービス事業所の職員に対して研修を実施した。		決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績	男女共同参画の視点
		H30年度実績評価・31年度の課題等		サービス事業者振興事業等: 7,935	H31年度 実施予定事業		52.7(%)	—
		◆介護サービスの質を向上させるため、さらに相談員の資質の向上や研修内容の充実を図る。			H31年度 実施予定事業		H31目標(実績)	H30
					H31年度 実施予定事業		—	F
					H31年度 実施予定事業		目標値(H33)	H31
					H31年度 実施予定事業		50.0(%)	F

基本目標		実績	H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向		2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現					介護支援専門 員や介護サー ビス事業所の 職員に対して 研修を実施す る
	④仕事と育児・介護等との 両立支援策の充実					基準値(H28) 30(単位)		
具体的施策	育児や介護と仕事の両立を支援するた め、保育サービスや介護サービスを広く 周知し、必要なときに適切にサービス提 供ができるよう市民の理解を促します。 また、保育サービスや介護サービスな どの量的・質的な拡充を進め、安心して 利用できる環境整備に努めます。						H30実績 31	q
							H31目標(実績) 32	
							目標値(H33) 32	
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現	◆市内16児童クラブ 登録児童数2,079名(平成31年3月31日現在) 支援員人数156名		事業費 (千円)	◆引き続き、児童クラブ運営事業を推進し ていく。	数値目標	こども政策課
	④仕事と育児・介護等との 両立支援策の充実				予算(H31)		放課後児童クラ ブの待機児童 数	
具体的施策	育児や介護と仕事の両立を支援するた め、保育サービスや介護サービスを広く 周知し、必要なときに適切にサービス提 供ができるよう市民の理解を促します。 また、保育サービスや介護サービスな どの量的・質的な拡充を進め、安心して 利用できる環境整備に努めます。		H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績	男女共同参画 の視点
			登録児童数の人数に対して人員や設備が不足している現場の状況があるため、今一度事業の 運営について見直しが必要となっている。		児童クラブ 運営事 業:308,352 千円		基準値(H25) 0(人)	
					児童クラブ 運営事 業:262,094 千円		H31目標(実績) 0(人)	H30
							目標値(H33) 0(人)	H31 B・F
II 男女が働きやすい環境の実現	施策の方向	2 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) の実現	◆子育て支援拠点事業 ・センター型:1ヶ所(子育て世代包括支援センター) ・ひろば型:7ヶ所 ◆ファミリー・サポート・センター 1ヶ所(中央) ・ファミサポ:依頼会員165人、援助会員83人、両方会員6人、合計254人		事業費 (千円)	◆引き続きファミリー・サポート・センター事 業を随時掲載していく。	数値目標	こども政策課
	④仕事と育児・介護等との 両立支援策の充実				予算(H31)		ファミリーサポ ートセンタ -運営事 業:6,834	
具体的施策	育児や介護と仕事の両立を支援するた め、保育サービスや介護サービスを広く 周知し、必要なときに適切にサービス提 供ができるよう市民の理解を促します。 また、保育サービスや介護サービスな どの量的・質的な拡充を進め、安心して 利用できる環境整備に努めます。		H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		基準値(H25) 978(人)	男女共同参画 の視点
			援助会員の確保		ファミリーサ ポートセンタ -運営事 業:5,332		H30実績 583(人)	
							H31目標(実績) 600(人)	
							目標値(H33) 1,000(人)	H31 B・F

II 男女が働きやすい環境の実現		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	H30年度 重点目標取組内容実績 ■新設保育園の開所に向け、事業者による建設工事を行う。	事業費 (千円) 予算(H31) 待機児童解消事業: 373	重点目標 仕事と育児の両立を支援するため、保育を必要とする方が安心して子どもを預けることができるよう、十分な受け入れ数を確保します。	数値目標 保育園の待機児童数	保育課
	2 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現						
	④仕事と育児・介護等との両立支援策の充実						
	具体的施策 育児や介護と仕事の両立を支援するため、保育サービスや介護サービスを広く周知し、必要なときに適切にサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。						
H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円) 予算(H31)	重点目標	数値目標	所管課		
H30年度 重点目標取組内容実績	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点		
①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実	H30年度実績評価・31年度の課題等	待機児童解消事業: 306,347 小規模保育事業施設整備事業: 39,139	民間用地で設置運営する事業者に対し整備費の補助を行います。	H31目標(実績)	H30		
具体的施策 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、必要に応じてサービス提供ができるよう市民の理解を促します。また、保育サービスや介護サービスなどの量的・質的な拡充を進め、安心して利用できる環境整備に努めます。	平成30年度は、前年度に決定した市有地に建設する新設保育園及び幼稚園からの認定こども園化に要する整備費の補助、公立小規模保育事業の整備を計画通り実施できた。しかし私立保育所の設置事業者の公募を行ったが応募がなかった。味岡地区での保育の供給量が不足しているため保育所等の募集をする必要がある。			目標値(H33)	H31		
				0(人)	B・F		
				0(人)	B・F		
III 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円) 予算(H31)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	H30年度 重点目標取組内容実績 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課からの情報提供をもとに、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	事業費 (千円) 予算(H31) 0	重点目標 広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	数値目標 男女共同参画関連情報の掲載件数	広報広聴課
	1 男女共同参画意識の普及・啓発						
	①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実						
	具体的施策 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。						
H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点		
①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実	H30年度実績評価・31年度の課題等	0	各課からの希望に応じて、広報への掲載やSNSを活用して、様々な世代へ情報発信する。	H31目標(実績)	H30		
具体的施策 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	広報を中心に、男女共同参画に関する情報を発信した。平成30年度は、まなび創造館と協力し、男女共同参画普及員を取り上げた紙面を作成した。年間の広報への掲載件数を把握したが、掲載記事が男女共同参画に該当するかどうかの判断が、担当者の裁量によるため、継続して件数を把握するためには、手法を検討する必要がある。			目標値(H33)	H31		
				93(件)	A・B		
				94(件)	B		
				96(件)	B		
III 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円) 予算(H31)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	H30年度 重点目標取組内容実績 「かすたねっと」による広報を継続して実施し、市民にとって身近な話題を取り上げることによる意識啓発を図る。	事業費 (千円) 予算(H31) 男女共同参画推進事業: 9,634	重点目標 「男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合」を60.0%にする。	数値目標 男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	まなび創造館
	1 男女共同参画意識の普及・啓発						
	①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実						
	具体的施策 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。						
H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H29	男女共同参画の視点		
①男女共同参画推進のための広報・啓発活動の充実	H30年度実績評価・31年度の課題等	男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき9月15日号、2月15日号 市内施設配布 各1,000部) ○第51号 LGBTについて紹介しました。 ○第52号 男女共同参画普及員の活動について紹介しました。LGBTについて考えてみました。	◆男女共同参画週間パネル展を開催した。(6月) ◆男女共同参画月間パネル展を開催した。(10月) ◆男女共同参画週間及び国際女性デーに、懸垂幕を掲示した。 ◆月替わりで団体交流室前A1パネルを掲示した。 ◆市ホームページを通じて、意識啓発に努めた。	45.8(%)	H30		
具体的施策 市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、広報誌やホームページ等、さまざまな手段による啓発活動を強化します。	H30年度実績評価・31年度の課題等	◆男女共同参画情報誌の全戸配布や講演会等多くの市民が集まる機会に、男女共同参画に対する理解を促進するための広報・啓発を行った。 ◆今後、広報・啓発活動は、対象とする年代を絞り、対象に合わせた内容で活動する。	◆男女共同参画週間パネル展 ◆男女共同参画月間パネル展 ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」年2回発行	H31目標(実績)	H30		
				目標値(H33)	H31		
				60.0(%)	A		

基本目標		実績		事業費		重点目標		数値目標		所管課			
Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		重点目標		数値目標		所管課			
施策の方向		H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		H31年度 重点目標取組内容		数値目標		所管課			
1 男女共同参画意識の普及・啓発		③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進		◆子育てに悩む親や祖父母に対して、コミュニケーション力の未熟な子どもとの絆やつながりを築くための術を導き、「こども夢・チャレンジNo.1都市」のための一助とする。 ○男女共同参画講座 ・子育てが楽しくなる「3つのきく」(全5回20人受講)		◆男女共同参画を理解し、推進していくための子どもの副読本「はばたけ未来へ」について、校長会議、教頭会議及び教務主任会議の場において利用方法等に関する説明を行い、市内小学校16校の5年生を対象に配布をし、実績調査を行った。		「男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合」を60.0%にする。		男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合			
具体的施策		乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれることなく、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。				事業費(千円)		H31年度 実施予定事業		男女共同参画の視点			
						予算(H31)		H31目標(実績)		H30			
						男女共同参画推進事業: 9,634 男女共同参画講座開催事業: 4,842		◆引き続き、「はばたけ未来へ」の活用について、小学校全校利用を働きかける。 ◆出前講座 市内中学校 2講座 ◆親子手帳へ男女共同参画について掲載する。 ◆中学生向けの男女共同参画啓発チラシを配布する。		45.8(%)			
						決算(H30見込)		60.0(%)		A・B			
						男女共同参画推進事業: 7,411 男女共同参画講座開催事業: 1,981		52.0(%)		H31			
								60.0(%)		A・B			
Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		重点目標		数値目標		所管課			
施策の方向		H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		H31年度 重点目標取組内容		数値目標		所管課			
1 男女共同参画意識の普及・啓発		③家庭・学校・地域における男女平等教育の推進		◆男女共同参画普及員 H31年3月31日現在 28区49人を配置(内女性24人) ◆男女共同参画普及員講座(4回延べ61人受講) ◆普及員に対し、男女共同参画に関する事業を案内した。 ◆全区長に対し、普及員の概要書類と共に、配置依頼をした。 ◆広報へ普及・啓発の掲載 ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき2月15日号 市内施設配布 各1,000部) ○第52号 男女共同参画普及員の活動について紹介しました。		◆男女共同参画普及員 H31年3月31日現在 28区49人を配置(内女性24人) ◆男女共同参画普及員講座(4回延べ61人受講) ◆普及員に対し、男女共同参画に関する事業を案内した。 ◆全区長に対し、普及員の概要書類と共に、配置依頼をした。 ◆広報へ普及・啓発の掲載 ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき2月15日号 市内施設配布 各1,000部) ○第52号 男女共同参画普及員の活動について紹介しました。		小牧市男女共同参画普及員設置区数を36区以上にする。		普及員設置区数		まなび創造館	
具体的施策		乳幼児健診時の相談、指導を通じて、親が家庭において子どもの個性を尊重した教育を実践できるよう支援します。性別にとらわれることなく、個性や能力に応じた進路選択ができるような進路指導の充実を図ります。		地域での活動に活かすため、普及員研修会をはじめ、男女共同参画講座の一部を男女共同参画普及員講座として位置づけ開催した。		事業費(千円)		H31年度 実施予定事業		男女共同参画の視点			
						予算(H31)		H31目標(実績)		H30			
						男女共同参画推進事業: 9,634 男女共同参画講座開催事業: 4,842		◆地域における意識啓発のために、男女共同参画普及員の積極的な配置を促す。 ◆普及員に対する講座、説明会、研修会を開催する。		31(区)			
						決算(H30見込)		50(区)		A・B			
						男女共同参画推進事業: 7,411 男女共同参画講座開催事業: 1,981		28区		H31			
								35(区)		A・B			
								50(区)		A・B			
Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		重点目標		数値目標		所管課			
施策の方向		H30年度実績評価・31年度の課題等		H31年度 実施予定事業		H31年度 実施予定事業		数値目標		所管課			
1 男女共同参画意識の普及・啓発		④男女共同参画に関する学習機会の充実		◆こまき市民文化財団の主催事業として開催する。		◆こまき市民文化財団の主催事業として開催する。		数値目標		生涯学習課			
具体的施策		生涯学習を通じて、男女共同参画について学習できるよう、学習機会や学習内容の充実を図ります。男女の参加意欲を高めるような参加体験型プログラムを取り入れる等、学習への参加を促します。		◆こまなびフェスティバル(生涯学習団体等が企画運営)開催の折に分野によらず男女が分け隔てなく、ともに参画するよう啓発した。 平成31年1月26日、27日に開催。参加団体は49団体。 ・広報やホームページ等により、参加の啓発を行った。		事業費(千円)		H31年度 実施予定事業		男女共同参画の視点			
						予算(H31)		H31目標(実績)		H30			
						こまき市民文化財団補助事業: 2,242		—		—			
						決算(H30見込)		—		—			
						こまき市民文化財団補助事業: 966		—		—			
								—		B・D・F			

III 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容実績 ④男女共同参画に関する学習機会の充実	H30年度実績評価・31年度の課題等	事業費	H31年度 重点目標取組内容 講座事業は、前年度の実績を検証し、より男女共同参画社会を形成のために有効な形態での取り組みを進める。	男女共同参画という言葉の意味を知っている市民の割合	まなび創造館
	1 男女共同参画意識の普及・啓発			予算(H31)			
	④男女共同参画に関する学習機会の充実			男女共同参画推進事業: 9,634 男女共同参画講座開催事業: 4,842			
	生涯学習を通じて、男女共同参画について学習できるよう、学習機会や学習内容の充実を図ります。男女の参加意欲を高めるような参加体験型プログラムを取り入れる等、学習への参加を促します。			男女共同参画推進事業: 7,411 男女共同参画講座開催事業: 1,981			
				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H29実績	男女共同参画の視点
					◆引き続き、女性と男性が男女共同参画について学習することができ、意識改革につながる講座を実施する。	45.8(%)	
						60.0(%)	A
						52.0(%)	A
						46.8(%)	
						60.0(%)	A
基本目標	施策の方向	H30年度事業実績 該当なし	H30年度実績評価・31年度の課題等	事業費	H31年度 実施予定事業 該当なし	数値目標	こども政策課
	2 男性にとっての男女共同参画			予算(H31)			
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進			0			
	夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。			0			
				決算(H30見込)		H30実績	男女共同参画の視点
						—	
						—	該当なし
						—	該当なし
						—	該当なし
						—	該当なし
基本目標	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容実績 ①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進	H30年度実績評価・31年度の課題等	事業費	重点目標 男性も参加しやすい学習機会を充実させ、市公民館・中部公民館市民企画講座受講者数の内、男性の受講者数を全体の30%とする。	市民企画講座の男性受講者率	生涯学習課
	2 男性にとっての男女共同参画			予算(H31)			
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進			こまき市民文化財団補助事業: 2,242			
	夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。			こまき市民文化財団補助事業: 966			
				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点
					◆こまき市民文化財団の主催事業として引き続き実施し、上記取組み内容を念頭に開催する。	8.1(%)	
						22(%)	
						25(%)	A・B・F
						30(%)	A・B・F

III 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課			
基本目標	施策の方向							事業費	◆引き続き、父子及び男性を対象とした料理及び男性を対象とした家事支援講座を開催予定。 ◆男性支援講座 ・父と子でチャレンジ☆料理&おたのしみ講座①② 男を磨く！ファッション&コミュニケーション講座(秋・冬編)(春・夏編) 簡単！時短！な料理に挑戦☆気軽に男性クッキング ◆男女共同参画講座 ・おやチカラをみがく！ペアレンティング	固定的な性別役割分担に反対する(「どちらかといえば反対」を含む)男性の割合
	2 男性にとっての男女共同参画	◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、家事支援・料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・男の魅力アップ講座(清掃編)(1回 18人受講)(片づけ編)(1回 13人受講)(洗濯編)(1回 14人受講) ・父と子で楽しむ料理講座(前期)(全3回 8組受講)(後期)(全3回 8組受講) ・割烹料理人が教える!!男の和食講座(5回 20人受講)		予算(H31)	基準値(H25)					
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進	実績	H30年度実績評価・31年度の課題等		男女共同参画講座開催事業: 4,842	26.8(%)	H26実績	男女共同参画の視点		
	夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。		◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取り組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 ◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。		決算(H30見込)	H31目標(実績)	H30			
			男女共同参画講座開催事業: 1,981	—	目標値(H33)	H31				
			30.0(%)		C					
基本目標	施策の方向					数値目標	所管課			
	2 男性にとっての男女共同参画					男性を対象とした講座の開催	まなび創造館			
	①男性の男女共同参画意識の高揚・理解の促進	実績				基準値(H25)				
	夫婦や親子での参加も含め、男性も参加しやすい学習機会を充実させ、家庭における男女共同参画意識の高揚を図ります。参加者自身が興味を持てる内容の参加体験型のプログラムを検討・実施し、男性の生活面での自立を支援します。				H30実績					
			H31目標(実績)							
					1(回)	H30実績				
					6(回)	H31目標(実績)				
					5(回)	目標値(H33)				
					2(回)					
基本目標	III(II) 男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進	H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課			
	施策の方向	各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	特になし					事業費	広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	
	(2) 男性にとっての男女共同参画			予算(H31)	H31年度 重点目標取組内容	男女共同参画関連情報の掲載件数	広報広聴課			
	2			0	市がめざす男女共同参画社会のイメージを周知し、普及させるため、各課が企画する講座やイベント等を広報紙やホームページ、SNS等の様々な手段を用いて、より多くの人に情報発信する。	基準値(H29)				
②(5) 男性の抱える課題・問題への対応	実績	H30年度 重点目標取組内容実績	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	38(件)		H30実績	男女共同参画の視点	
男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。		男性を対象とした情報を広報を中心に情報発信した。男性に関する内容の広報掲載件数:6件(男女共同参画に関する掲載件数のうち)	広報を中心に、男性を対象とした情報を発信した。年間の広報への掲載件数を把握したが、掲載記事が男女共同参画に該当するかどうかの判断が、担当者の裁量によるため、継続して件数を把握するためには、手法を検討する必要がある。	0	各課からの希望に応じて、広報への掲載やSNSを活用して、様々な世代へ情報発信する。	93(件)		H31目標(実績)	H30	
					0		94(件)	目標値(H33)	H31	
						96(件)		B		

III(II)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動(市HP掲載)を継続して行った。 ◆「あいち仕事と生活の調和行动計画」を商工振興課窓口にて配布した。		事業費 (千円)	◆引き続き資料の配布を通じて周知を行う。	—	商工振興課
	(2) 2		男性にとっての男女共同参画	予算(H31)	0		基準値 —	
	②(5)男性の抱える課題・問題への対応		H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	0		H30実績 —	男女共同参画の視点
	具体的施策		男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	女性だけでなく、男性も育児や介護に参加しやすい環境にしていき、お互いが支え合える社会にしていくことが求められるため、HPや窓口での資料配布など周知活動を継続して行っていき、周知に努めていく。	0		H31目標(実績) —	H30 D
目標値(H33)	—	D						
III(II)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	◆パパママ教室6回:278人 (男性133人、女性137人、その他8人)		事業費 (千円)	平成30年度と同様にパパママ教室を通して夫婦が家庭において互いを尊重して育児ができるよう支援します。	パパママ教室 開催	保健センター
	(2) 2		男性にとっての男女共同参画	予算(H31)	母子保健 指導事業: 60		基準値(H25) 6(回)	
	②(5)男性の抱える課題・問題への対応		H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	6(回)		H30実績 6(回)	男女共同参画の視点
	具体的施策		男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	教室を通して、夫婦がお互いのことを尊重し、協力して子育て参加ができるよう支援します。	母子保健 指導事業: 41		H31目標(実績) 6(回)	H30 A
目標値(H33)	6(回)	A						
III(II)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	参考:保健連絡員赤ちゃん訪問:948件(不在訪問件数除く)		事業費 (千円)	(こども政策課へ所管課移動)	親子健康手帳 個別交付率	保健センター
	(2) 2		男性にとっての男女共同参画	予算(H31)	地区組織活 動:1385,母子 保健指導:161, 生と性育み推 進:2117,母子 保健健康診査: 21313		基準値(H25) 92.7(%)	
	②(5)男性の抱える課題・問題への対応		H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	(所管課移動)		H30実績 (所管課移動)	男女共同参画の視点
	具体的施策		男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	(こども政策課へ所管課移動)	地区組織活動: 1033 生と性育み推 進:1080 母子保健健康 診査:19090		H31目標(実績) (所管課移動)	H30 F
目標値(H33)	95(%)	(所管課移動)						

III(II)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向			(千円)	アニバーサリー事業(セカンドブック事業)を新たに実施し、妊娠、出産、育児期に渡り切れ目なく支援できるよう、1歳の節目に育児相談の機会を設ける。	親子健康手帳個別交付率	こども政策課	
	(2) 男性にとっての男女共同参画			予算(H31)				
	②(5)男性の抱える課題・問題への対応			母子保健型利用者支援事業 11,695千円				
	具体的施策	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)				
		H30年度事業実績						
		親子健康手帳交付時の健康相談数1,043件 妊産婦及び新生児乳児訪問489件 母乳相談数112件						
		平成30年9月に子育て世代包括支援センターを開設し、親子健康手帳交付窓口を一本化した。それにより、今まで、各支所における親子健康手帳の交付は専門職による相談を実施することができなかったが、開設以降は、全届出に対して専門職による相談を実施している。		母子保健型利用者支援事業 6,769千円				
		H30年度実績						
		92.7(%)						
		H30実績						
		96.5						
		H31目標(実績)						
		100						
		目標値(H33)						
		95(%)						
		H30実績						
		96.5						
		H31目標(実績)						
		100						
		目標値(H33)						
		95(%)						
III(II)男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向			(千円)	◆引き続き、父子及び男性を対象とした料理及び男性を対象とした家事支援講座を開催予定。 ◆男性支援講座 ・父と子でチャレンジ☆料理&おたのしみ講座①② 男を磨く!ファッション&コミュニケーション講座(秋・冬編)(春・夏編) 簡単!時短!な料理に挑戦☆気軽に男性クッキング ◆親子手帳	—	まなび創造館	
	(2) 男性にとっての男女共同参画			予算(H31)				
	②(5)男性の抱える課題・問題への対応			男女共同参画講座開催事業: 4,842				
	具体的施策	男性が家事・育児・介護に参画しやすい環境づくりに努め、市民の意識啓発を促します。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)				
		H30年度事業実績						
		◆男性向けに、家庭生活への参画を促すために、料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 ・男の魅力アップ講座(清掃編)(1回 18人受講)(片づけ編)(1回 13人受講)(洗濯編)(1回 14人受講) ・父と子で楽しむ料理講座(前期)(3回 8組受講)(後期)(3回 8組受講) ・割烹料理人が教える!!男の和食講座(5回 20人受講)						
		◆女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取り組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 ◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。		男女共同参画講座開催事業: 1,981				
		H30年度実績						
		—						
		H30実績						
		—						
		H31目標(実績)						
		—						
		目標値(H33)						
		—						
III男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費	重点目標		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向			(千円)	市内の高校全校(5校)に、男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実及び定着を図ります。		生と性のカリキュラムの実施(小学校・中学校+高校)	保健センター
	3 子どもにとっての男女共同参画			予算(H31)				
	①さまざまな教育の場における男女平等の促進			生と性育み推進:389				
	具体的施策	男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる態度を育てる「性に関する指導」の充実を図ります。子育てへの関心や将来、親となる者としての意識の醸成を図ります。	H30年度 重点目標取組内容実績	決算(H30見込)				
		H30年度 重点目標取組内容			H31年度 重点目標取組内容			
		未実施校2校に対して、男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」を実施できるよう調整を図る。			市内の高校全校(5校)に対して、男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実と定着を図るために全5校と協議を行う。			
		◆生と性のカリキュラム推進 ・小学校性教育実施数:16校 ・中学校性教育実施数:7校 ・高校生性教育実施数:4校			H30年度実績			
		男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる「性に関する指導」の充実を図りました。			25(校)			
		H30年度実績評価・31年度の課題等			H31目標(実績)			
		中学校での実施については、8校から7校に減少したが、担任・養護教諭による実施はされている。高校においては3校から4校に増え実施ができ、1校の未実施校には働きかけたをが実施に至らなかった。31年度も引き続き働きかけを行い、5校での実施を目指す。		生と性育み推進:296	H30実績			
		H30年度実績			27(校)			
		H31目標(実績)			29(校)			
		目標値(H33)			30(校)			
		H30実績			27(校)			
		H31目標(実績)			29(校)			
		目標値(H33)			30(校)			

Ⅲ男女共同参画社会の形成に向けた意識改革・教育の推進		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	該当なし			予算(H31)	該当なし		—
	3 子どもにとっての男女共同参画			0			基準値 —	
	①さまざまな教育の場における男女平等の促進			決算(H30見込)			H30実績 —	男女共同参画の視点
	具体的施策 男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる態度を育てる「性に関する指導」の充実を図ります。子育てへの関心や将来、親となる者としての意識の醸成を図ります。	H30年度実績評価・31年度の課題等		0			H31目標(実績) —	H30 該当なし
				0			目標値(H33) —	H31 該当なし
基本目標	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標		数値目標	所管課
	3 子どもにとっての男女共同参画	前年度の検討内容に基づき、「生と性のカリキュラムー改訂版ー」に基づいた授業実践を推進する。	・平成26年度に作成した「生と性のカリキュラムー改訂版ー」に基づく授業実践を実施した。 ・小中学校全校(小1～中3)において、生と性のカリキュラムにより各学年2時間計画されている。完全実施した学校は小学校9校、中学校4校。中学校3校が1時間実施、小学校7校、中学校1校が特定学年のみ完全実施した。	予算(H31)	生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施。		生と性のカリキュラム(2時間)の完全実施校数	学校教育課
	①さまざまな教育の場における男女平等の促進	H30年度 重点目標取組内容実績	H30年度実績評価・31年度の課題等	0	H31年度 重点目標取組内容		基準値(H27)	
	具体的施策 男女がそれぞれの性の特徴を学び、互いに相手の人格を尊重し、理解しあって生きる態度を育てる「性に関する指導」の充実を図ります。子育てへの関心や将来、親となる者としての意識の醸成を図ります。	命を尊び、自他ともに認めあう人間形成のため、生と性のカリキュラムを小中学校において実施した。	・生と性のカリキュラムは、小中学校全校全学年で2時間計画されており、完全実施に向け取り組んでいる。全児童生徒に指導できるよう工夫もされている。平成31年度も完全実施に向けた取組を進めるが、平成32年度に、学習指導要領が改訂され、新たな教育的課題への取り組みが求められるとともに、授業時数(コマ数)の不足も懸念されているため、現在の完全実施校においても、検討が必要となる。	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業		H30実績 20(校)	男女共同参画の視点
			0	「生と性のカリキュラムー改訂版ー」に基づく授業実践を推進する。		H31目標(実績) 20(校)	H30 A	
				0			目標値(H33) 25(校)	H31 A
基本目標	施策の方向	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	3 子どもにとっての男女共同参画	◆キャリア教育の中で、中学2年生のうち201人が幼稚園・保育園をはじめとした教育・学習支援業の58事業所(延べ)で体験学習を実施した。		予算(H31)	◆引き続き幼稚園・保育園での体験学習を推進する。		職業体験実習の実施(中学校)	学校教育課
	②学校教育の場からのキャリア教育の推進			0			基準値(H25) 9(校)	
	具体的施策 子どもたちが社会の一員としての役割を果たすとともに、それぞれの個性、持ち味を最大限発揮しながら自立して生きていくことができるよう、キャリア教育を推進していきます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)			H30実績 9(校)	男女共同参画の視点
		中学校2年生が、民間事業所等において体験学習を行うことで、自己のキャリア等を考えるよい機会となった。	0			H31目標(実績) 9(校)	H30 B	
				0			目標値(H33) 9(校)	H31 B

基本目標		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課	
IV 安心して暮らせる環境づくり	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容実績 自立支援協議会の相談支援事業所連絡会において、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行い、相談支援の質の向上を図り、適切なサービス提供に努める。	その他 H30年度事業実績 (障がい者) ◆福祉ガイドブックを1400部作成し、関係者へ配布した。 ◆事業所一覧を2000部作成し、関係者へ配布した。 ◆相談支援員を市内一般相談支援事業所4法人(5事業所)へ4人、3人、3人、2人の計12人配置した。	事業費	必要な方に適切な支援を提供する。	年間における ひと月あたりの 平均	長寿・障がい福祉課	
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(H31)				
	①高齢者や障がい者の生活の安定・自立のための支援			0				H31年度 重点目標取組内容 自立支援協議会の相談支援事業所連絡会において、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行い、相談支援の質の向上を図り、適切なサービス提供に努める。
	具体的施策 高齢者や障がい者が、介護保険制度や支援費制度によるサービスを円滑に利用できるような環境づくりに努め、高齢者や障がい者の生活の自立を支援します。			決算(H30見込)				H31年度 実施予定事業
		H30年度実績評価・31年度の課題等	引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。また、委託相談連絡会が相談分野以外の連絡会と連携できるように努める。	0	引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。	H30実績 居宅介護312人、生活介護238人、就労継続支援419人	男女共同参画の視点	
						H31目標(実績) 居宅介護236人、生活介護272人、就労継続支援365人	H30	
						目標値(H32) 居宅介護242人、生活介護279人、就労継続支援392人	H31	
							B・D・F	
							B・D・F	
IV 安心して暮らせる環境づくり	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容 ・地域密着型サービスを運営する事業者を公募する。・ケアプランをチェックするとともに、給付費通知を送付する。・第7次高齢者保健福祉計画に基づき施策を実施する。	その他 H30年度事業実績 ◆地域密着型サービスを運営する事業者を公募し決定した。(認知症対応型共同生活介護1箇所、看護小規模多機能型居宅介護1箇所) ◆介護給付の適正化を図るために、ケアプランのチェックを実施し、利用者に対して給付費通知を送付した。(ケアプランチェック:85プラン 通知:14,112通) ◆介護保険サービス事業者連絡会の会員事業所が、介護サービスの利用について市民向けに説明を行った。	事業費	施設入所待機者の状況や保険料への影響を勘案し、実情に応じた施設の整備を進める。	施設入所待機者の状況や保険料への影響を勘案し、実情に応じた施設の整備を進める	介護保険課	
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(H31)				
	①高齢者や障がい者の生活の安定・自立のための支援			地域密着型サービス施設整備補助事業等:96,900				H31年度 重点目標取組内容 ・地域密着型サービスを運営する事業者を公募し、補助金を交付する。
	具体的施策 高齢者や障がい者が、介護保険制度や支援費制度によるサービスを円滑に利用できるような環境づくりに努め、高齢者や障がい者の生活の自立を支援します。			決算(H30見込)				H31年度 実施予定事業
		H30年度実績評価・31年度の課題等	◆介護サービスを円滑に利用できるような事業を推進するとともに、今後の高齢者保健、福祉、介護施策の方向性を明らかにし、地域と共同して事業を円滑に実施していくための指針である「第7次高齢者保健福祉計画」を実施する。	高齢者福祉施設整備補助事業等:0	◆地域密着型サービスを運営する事業者の公募 ◆ケアプランのチェックと給付費通知の送付 ◆第7次高齢者保健福祉計画の実施	H30実績 0(施設)	男女共同参画の視点	
						H31目標(実績) 2(施設)	H30	
						目標値(H33) 2(施設)	H31	
							F	
							F	
IV 安心して暮らせる環境づくり	施策の方向	H30年度 重点目標取組内容 ◆広報やホームページなどで周知を図り、面接相談やEメールによる相談体制を維持するとともに、相談員のスキル向上に努め、適切な相談ができるようにする。	その他 H30年度事業実績 ◆ひとり親相談について、広報やホームページなどで周知を図った。 ひとり親相談件数:延べ1,159件	事業費	ひとり親家庭の生活支援や就業に関する相談窓口について、広報やホームページなどで周知を図り、面接相談やEメールによる相談体制を確立する。	母子・父子相談件数	こども政策課	
	1 安心して生活するための環境づくり			予算(H31)				
	②ひとり親家庭の生活の安定・自立のための支援			3款3項3目のうち47,238(手当支給事業除く)				H31年度 重点目標取組内容 ◆広報やホームページなどで周知を図り、面接相談やEメールによる相談体制を維持するとともに、相談員のスキル向上に努め、適切な相談ができるようにする。
	具体的施策 家庭児童相談、ひとり親家庭相談の充実、就労支援等を通じ、ひとり親家庭の自立を支援します。			決算(H30見込)				H31年度 実施予定事業
		H30年度実績評価・31年度の課題等	◆平成30年度は、広報やホームページなどで周知を図ったが、Eメールによる受付件数は1件であった。平成31年以降は、子育てアプリでも周知を図っていく。	3款3項3目のうち25,554(手当支給事業除く)	◆引き続きひとり親家庭の安定した生活や自立を支えるための支援を行う。また、ひとり親家庭に関する情報をまとめたひとり親家庭総合案内パンフレットを作成する。	H30実績 1,159(件)	男女共同参画の視点	
						H31目標(実績) 1,160(件)	H30	
						目標値(H33) 1,100(件)	H31	
							B・E	
							B・E	

IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	<p>◆ひとり親家庭の自立支援や出産や育児を期に離職した女性に対する再就職支援のための講座を開催した。 ○就労支援講座 人生を変える仕事 ～整理収納アドバイザーになるために～【全3回 44人受講】 女性のための就労支援パソコン講座(初級)【全3回 15人受講】 女性のための就労支援パソコン講座(中級)【全3回 12人受講】 ◆女性の再就職支援のため、ママ・ジョブ・あいちの出張相談を就労支援講座の折、開催した。 全2回(1人50分6枠内8人利用)</p>					予算(H31)
	1 安心して生活するための環境づくり			男女共同参画講座開催事業: 4,842	基準値	—		
	②ひとり親家庭の生活の安定・自立のための支援			決算(H30見込)	H30実績	男女共同参画の視点		
	具体的施策 家庭児童相談、ひとり親家庭相談の充実、就労支援等を通じ、ひとり親家庭の自立を支援します。			H30年度実績評価・31年度の課題等	H31目標(実績)	H30		
			◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。 ◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 ◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。	男女共同参画講座開催事業: 1,981	目標値(H33)	H31	C	
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	<p>◆ボランティア養成講座を開催することで、会員の増強を図った。 ・手話ボランティア養成講座(昼の部:全12回、参加者3名、加入者3名)(夜の部:全12回、参加者9名、加入者0名) ・要約筆記ボランティア養成講座(全6回、開講中止) ・音訳ボランティア養成講座(全10回、参加者11名、加入者9名) ・点訳ボランティア養成講座(全10回・開講中止) ・災害ボランティアコーディネーター養成講座(全4回自主開講、参加者2名、加入者1名) ・障がい者ガイドボランティア養成講座(全2回、参加者23名、加入者8名)</p>					予算(H31)
	1 安心して生活するための環境づくり			ボランティア活動等助成事業 9,600千円	基準値	—		
	③地域における各種生活支援の充実			決算(H30見込)	H30実績	男女共同参画の視点		
	具体的施策 高齢者や障がい者等の日常的な生活課題を、地域でサポートしようとする意識づくりを進め、地域福祉の推進を図ります。			H30年度実績評価・31年度の課題等	H31目標(実績)	H30		
			少数であるが講座を通じてボランティア活動に参加する人を着実に増やすことができた。今後も、地域福祉活動、ボランティア活動を行うきっかけとなる機会となり、ボランティア活動を行う人を増やしていけるよう継続していく必要がある。	ボランティア活動等助成事業 9,000千円	目標値(H33)	H31	B	
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度 重点目標取組内容		事業費 (千円)	重点目標	数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	その他 H30年度事業実績						予算(H31)
	1 安心して生活するための環境づくり	<p>(障がい者) ◆福祉ガイドブックを1400部作成し、関係者へ配布した。 ◆事業所一覧を2000部作成し、関係者へ配布した。 ◆相談支援員を市内一般相談支援事業所4法人(5事業所)へ4人、3人、3人、2人の計12人配置した。</p>		0				
	③地域における各種生活支援の充実	H30年度 重点目標取組内容実績		決算(H30見込)	H31年度 重点目標取組内容	基準値(H25)	男女共同参画の視点	
	具体的施策 高齢者や障がい者等の日常的な生活課題を、地域でサポートしようとする意識づくりを進め、地域福祉の推進を図ります。	<p>相談支援事業所連絡会を4回行い、相談業務における情報共有及び課題の整理等を行った。そのうち3回は事例検討会とし、相談における質の向上を図った。また、相談業務を委託している事業所による委託相談連絡会を12回開催し、地域課題などについての意見交換を行った。</p>			H31年度 実施予定事業	<p>居宅介護236人、生活介護238人、就労継続支援131人</p>		
			引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。また、委託相談連絡会が相談分野以外の連絡会と連携できるように努める。	0	引き続き相談支援事業所連絡会及び委託相談連絡会により、情報共有や課題に取り組むとともに相談の質の向上に努める。	H30実績	H30	
						<p>居宅介護312人、生活介護261人、就労継続支援419人</p>	目標値(H32)	H31
						<p>居宅介護242人、生活介護279人、就労継続支援392人</p>		B・D・F

基本目標		H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		事業費	重点目標	数値目標	所管課
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		事業費	重点目標	数値目標	所管課
	施策の方向	前年度に引き続き、問題の解決に向けた取り組みを進める。各課で在籍している外国人相談員や通訳に、必要な情報を適宜提供し、情報共有体制を強化する。		ごみ分別アプリや災害時防災情報メール配信サービスの多言語化を、市ホームページや外国語版生活情報誌にてPRしたほか、119番通報の多言語化や、災害・避難に関する情報のやさしい日本語版チラシを大学等と連携して作成するなど、外国人市民の生活における不安を解消する取り組みを進めた。		(千円)	多文化共生実現のための課題解決に取り組み、外国人市民の生活における不安を解消するよう働きかける。	H29年度以降に検討した課題を解決した数	シティプロモーション課
	1 安心して生活するための環境づくり	H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)	H31年度 重点目標取組内容	基準値(H29)	
	④外国人女性やその家族が安心して生活できる環境づくり	庁内や県内市町村等と連携した中で、様々な課題が浮き彫りになっているが、その中で特に日本語コミュニケーションや災害時に関するニーズが依然として高いことがわかった。		浮き彫りとなった課題の解決に向け、様々な取り組みを実施した。しかし、全ての課題を解決できるまでには至っていない。		多文化共生推進事業 20,992	前年度に引き続き、問題の解決に向けた取り組みを進める。各課で在籍している外国人相談員や通訳に、必要な情報を適宜提供し、情報共有体制を強化する。	0(件)	H30実績
具体的施策	外国人の方は、言葉の違いや文化・価値観の違い、地域における孤立等により、日本人よりも困難な状況に置かれている可能性があります。男女共同参画の観点からも、外国人の方を対象とした支援を進めていきます。				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H31目標(実績)	H30	
							多文化共生推進プランの改定を行う。H30年度に始めた災害時外国人支援ボランティアの養成及び育成を行うため、昨年度に引き続き養成講座を実施するほか、今年度はフォローアップ研修を実施する。	1(件)	B
								目標値(H33)	H31
								1(件)	B
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度 重点目標取組内容		その他 H30年度事業実績		事業費	重点目標	数値目標	所管課
	施策の方向	・小学校は従来どおり各年度2校、中学校は29年度の検討に基づき、1校ずつ人権教室を実施し、人権についての正しい認識を持ち、人権意識の高揚を図る。		◆11月18日(日)いきいきこまきの会場で人権擁護委員のブースを設け、人権意識の啓発を図った。 ◆12月の人権週間に合わせて12月3日(月)～10日(月)、まなび創造館で人権啓発パネル展示を行い、広く人権問題の啓発を行った。		(千円)	現在小学校2年生を対象に実施している「人権教室」を中学校でも実施する。	人権教室の実施校数	市民安全課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	H30年度 重点目標取組内容実績		H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)	H31年度 重点目標取組内容	基準値	
	①人権教育・啓発の充実	・小学校2校、中学校1校で人権教室を実施し、人権についての正しい認識を持ち、人権意識の高揚を図った。		◆小学校の人権教室が定着したため、平成30年度から中学校での人権教室を実施した。内容については年齢・時代に応じたもので実施できるようにする。また、幼稚園での人権教室を実施した。平成31年度から2園ずつ実施する計画。		人権擁護事業 455	・小学校2校、中学校1校で人権教室を実施し、人権についての正しい認識を持ち、人権意識の高揚を図る。	小学校2校	H30実績
具体的施策	女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H31目標(実績)	H30	
							小学校2校(三ツ瀨小・村中小)で人権教室を実施する。 中学校1校(味岡中)で人権教室を実施する。 保育園2園で人権教室を実施する。	小学校2校	F
								目標値(H33)	H31
								—	F
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		事業費	重点目標	数値目標	所管課
	施策の方向	◆人権週間に、全小中学校で一斉に人権に関する授業、集会、講話等を行った。 ・授業(道徳25校、社会9校、国語3校、学級活動1校、総合3校)、講話25校、集会5校		◆前年度と同様に実施していく。		(千円)		—	
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	H30年度実績評価・31年度の課題等		H30年度実績評価・31年度の課題等		予算(H31)		基準値	
	①人権教育・啓発の充実	人権週間に、全小中学校で人権に関する授業等を実施し、人権問題への正しい認識を育む取り組みを実施した。				0		—	H30実績
具体的施策	女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。				決算(H30見込)			—	
								H31目標(実績)	H30
								—	B
								目標値(H33)	H31
								—	B

基本目標		H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
	施策の方向	◆男女共同参画講座において、人権や男女共同参画に関する学習する機会を設けた。		(千円)				
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	○男女共同参画講座 ・アサーティブ・トレーニング講座(2回 26人受講) ・「女らしく」「男らしく」ではなく、「自分らしく」暮らす(5回 18人受講) ・より良い人間関係を築く傾聴講座(2回 26人受講) ・人生・運命に立ち向かう女性たち(5回 24人受講) ○男女共同参画週間名画鑑賞会(午前193人・午後138人参加) ○国際女性デー名画鑑賞会(午前214人・午後146人参加)		予算(H31)				
	①人権教育・啓発の充実	◆市が推進する施策を紹介し、市民に対して意識の高揚を促すことを目的とし、パネル展を開催した。 ・男女共同参画週間パネル展(6月)・男女共同参画月間パネル展(10月)・DV防止週間パネル展(11月) ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき9月15日号、2月15日号 市内施設配布 各1,000部) ・第51号 LGBTについて紹介・第52号 男女共同参画普及員の活動について紹介、LGBTIについて考えてみる。		男女共同参画推進事業: 9,634 男女共同参画講座開催事業: 4,842				
具体的施策	女性をはじめ、子ども、高齢者、障がい者、外国人等のさまざまな人権問題への正しい認識を育む啓発を行います。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績	男女共同参画の視点	
		◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。		男女共同参画推進事業: 7,412		H31目標(実績)	H30	
		◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。		男女共同参画講座開催事業: 1,981		基準値	—	
		◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。				目標値(H33)	H31	
						—	A	
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課	
	施策の方向	◆人権のみならず社会情勢に関する講座を開催し、情報を評価・分析する能力を向上する機会を設けた。		(千円)				
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	○男女共同参画講座 ・時事問題を知るための講座①(5回 52人受講) ・時事問題を知るための講座②(5回 46人受講)		予算(H31)				
	②メディア・リテラシー(メディアの情報を主体的に読み解く力)の向上	◆市が推進する施策を紹介し、市民に対して意識の高揚を促すことを目的とし、パネル展を開催した。 ・男女共同参画週間パネル展(6月)・男女共同参画月間パネル展(10月)・DV防止週間パネル展(11月) ◆男女共同参画情報誌「かすたねっと」(全戸配布・広報こまき9月15日号、2月15日号 市内施設配布 各1,000部) ・第51号 LGBTについて紹介・第52号 男女共同参画普及員の活動について紹介、LGBTIについて考えてみる。		男女共同参画講座開催事業: 4,842				
具体的施策	情報をもたらす影響力の大きさを知り、メディアの情報を客観的に評価・分析する力を養うための啓発活動を行うとともに、教育・学習機会を充実させます。	H30年度実績評価・31年度の課題等		決算(H30見込)		H30実績	男女共同参画の視点	
		◆受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。		男女共同参画講座開催事業: 1,981		H31目標(実績)	H30	
		◆広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。				基準値	—	
		◆様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。				目標値(H33)	H31	
						—	B	
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費	重点目標		数値目標	所管課
	施策の方向	ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等に係る悩みごとの相談を福祉総務課窓口にて受け付け、相談の内容に応じて警察署、女性相談所等の連携を取り、新しい居住地の確保や加害者からの隔離、生活に必要な金銭の扶助等を実施する。	◆福祉総務課の窓口にて相談を受け付け、警察署、子ども政策課、女性相談所と連携し、保護を実施した。 ・DV対象住宅等借上数 1件	(千円)	DV等の被害者が安定した生活を送れるよう必要な保護を実施する。		数値目標設定なし ・相談体制の充実、ネットワークの構築という具体的施策に対し、数値での目標を立てることはそぐわないと判断するため。 ・相談件数や対応件数は少ないほど人権が侵害されていないと考えることもできるが、対応をすることで件数を減少させることには繋がらず、目標としてはそぐわないと判断するため。	福祉総務課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策			予算(H31)	H31年度 重点目標取組内容			
	③男女間における暴力の根絶	H30年度 重点目標取組内容実績		社会福祉総務一般事業: 200千円	ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等に係る悩みごとの相談を福祉総務課窓口にて受け付け、相談の内容に応じて警察署、女性相談所等の連携を取り、新しい居住地の確保や加害者からの隔離、生活に必要な金銭の扶助等を実施する。			
具体的施策	平成30年度中に、悩み事の相談を7件受け付け、内4件については生活保護制度にて必要な扶助を実施した。	H30年度実績評価・31年度の課題等	決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業				
	ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。	◆平成30年度は多くの関連部署、関係団体と連携の上、必要な保護の適切な実施をすることができた。平成31年度も引き続き円滑で迅速な連携ができる体制を図っていく。		社会福祉総務一般事業: 11千円	引き続き、福祉総務課の窓口にて相談を受け、関連部署と連携し、必要な保護を実施する。		男女共同参画の視点	
							H30	
							H31	
							C	
							C	

IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
基本目標	施策の方向	実績	◆女性のための悩みごと相談窓口において女性相談員を配置し、相談者にとって相談しやすい環境を整えた。 ・まなび女性相談 H30件数:436件(面接143件、電話293件)[内DV相談21件(面接13件、電話8件)] ・女性電話相談 H30件数:540件[内DV専用相談入電100件] ◆市内各施設に相談カードの設置を依頼し、周知を図った。 ◆FBに新着情報として相談日を掲載し、周知を図った。 ◆DV被害者に直接又は間接に関わる課等と連携を図るため、小牧市DV対策連絡会議を設置し、情報の共有を図った。 ◆女性相談の窓口を知っている女性の割合 H28 48.4%、H29 49.0% ◆女性相談でDV相談が受けられると知っている女性の割合 H28 78.6%、H29 74.4%	事業費 (千円)	◆引き続き、相談窓口を開設する。 ◆引き続き、相談窓口についての周知を図るため、より多くの市内の施設等に相談窓口の案内を設置してもらうよう働きかける。 ◆引き続き、DV対策連絡会議を開催し、関係各課と情報交換を行うことで、相談者の支援に努める。	女性相談を知っている女性の割合	まなび創造館
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策			予算(H31)			
具体的施策	③男女間における暴力の根絶	実績	H30年度実績評価・31年度の課題等 ◆デートDV手帳を作成し、市内高校1年生1,071人に配布した。女性相談カードを市内各施設の女性トイレなどに設置した。 ◆内容を見直し、配布方法を検討する。	決算(H30見込)	男女共同参画推進事業:7,412	基準値(H25)	男女共同参画の視点
	ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。			H31目標(実績)		H30	
						52.1(%)	
						H29実績	
						49.0(%)	
						60.0(%)	
						目標値(H33)	H31
						E	
基本目標	施策の方向	実績	h			数値目標	所管課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策						
具体的施策	③男女間における暴力の根絶	実績	h			基準値(H25)	k
	ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為等さまざまな人権問題に関する悩み事相談の体制の充実を図ります。男女をとりまくさまざまな悩みごとを救済するため、関係機関によるネットワークを構築します。						
						H29実績	
						74.4(%)	
						H31目標(実績)	
						75.0(%)	
						目標値(H33)	
						77.0(%)	
基本目標	施策の方向	実績	H30年度事業実績 ◆11月18日(日)いきいきこまきの会場で人権擁護委員のブースを設け、人権意識の啓発を図った。 ◆12月の人権週間に合わせて12月3日(月)～10日(月)、まなび創造館で人権啓発パネル展示を行い、広く人権問題の啓発を行った。	事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業 小学校2校(三ツ瀨小・村中小)で人権教室を実施する。 中学校1校(味噌中)で人権教室を実施する。 保育園2園で人権教室を実施する。	数値目標	所管課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策			予算(H31)			
具体的施策	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止	実績	H30年度実績評価・31年度の課題等 ◆小学校の人権教室が定着したため、平成30年度から中学校での人権教室を実施した。内容については年齢・時代に応じたもので実施できるようにする。また、幼稚園での人権教室を実施した。平成31年度から2園ずつ実施する計画。	人権擁護事業 455		基準値	男女共同参画の視点
	セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。			決算(H30見込)			
						H30実績	
						—	
						—	
						H31目標(実績)	H30
						—	F
						目標値(H33)	H31
						—	F

基本目標		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	施策の方向	◆福祉総務課の窓口にて相談を受け付け、警察署、子ども政策課、女性相談所と連携し、保護を実施した。 ・DV対象住宅等借上数 1件		予算(H31)	引き続き、福祉総務課の窓口にて相談を受け、関連部署と連携し、必要な保護を実施する。		—	福祉総務課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	H30年度実績評価・31年度の課題等		0			基準値	
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止	◆平成30年度は多くの関連部署、関係団体と連携の上、必要な保護の適切な実施をすることができた。平成31年度も引き続き円滑で迅速な連携ができる体制を図っていく。		決算(H30見込)			—	H30実績
具体的施策	セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		0			H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31	C
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	施策の方向	◆児童に関わる機関により構成する要保護児童対策地域協議会を設置しており、年1回の代表者会議、毎月1回の実務者会議を開催し、要保護児童等についての情報共有を図った。		予算(H31)	◆代表者会議:7月頃開催予定。 ◆実務者会議:毎月最終週の木曜日に開催予定。		—	こども政策課
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	H30年度実績評価・31年度の課題等		家庭児童相談事業 6,436			基準値	
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止	◆代表者会議:1月に開催。 ◆実務者会議:毎月開催。 H31年度も引き続き開催するよう努める。 <H30年度実績>家庭児童相談件数:141件(実数) 実務者会議におけるケース件数:414件(実数)		決算(H30見込)			—	H30実績
具体的施策	セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		家庭児童相談事業 5,975			H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31	F
基本目標	IV安心して暮らせる環境づくり	H30年度事業実績		事業費 (千円)	H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課
	施策の方向	◆「女性に対する暴力をなくす運動」期間にちなみ、パネル展を開催することで、DVに関する知識を深めるとともに、周知活動及び情報提供を行った。(11月) ◆「女性に対する暴力をなくす運動」キャラクターのパープルリボン着用の取組に参加し、いきいきこまきにおいて市マスコットキャラクターこまき山によるPR及びセンターモール設置の小牧山パネルにおいてパープルリボンの周知を行った。 ◆デートDV手帳(A4折りたたみ)を作成し、市内高校1年生1,071人に配布した。 ◆女性相談カードを市内各施設の女性トイレなどに設置した。 ◆市が推進する施策を紹介し、市民に対して意識の高揚を促すことを目的とし、パネル展を開催した。 ・DV防止週間パネル展(11月)		予算(H31)	◆引き続き、相談窓口を開設する。 ◆引き続き、相談窓口についての周知を図るため、より多くの市内の施設等に相談窓口の案内を設置してもらうよう働きかける。 ◆引き続き、DV対策連絡会議を開催し、関係各課と情報交換を行うことで、相談者の支援に努める。		—	まなび創造館
	2 人権についての正しい認識と人権侵害への予防・対策	H30年度実績評価・31年度の課題等		男女共同参画推進事業:9,634			基準値	
	④セクシュアル・ハラスメントや性犯罪・ストーカー行為の防止	◆デートDV手帳を作成し、市内高校1年生1,071人に配布した。女性相談カードを市内各施設の女性トイレなどに設置した。 ◆内容を見直し、配布方法を検討する。		決算(H30見込)			—	H30実績
具体的施策	セクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス(DV)、ストーカー行為、児童虐待等、さまざまな人権問題に関する情報提供や関係法令の周知等により、問題の防止に努めます。		男女共同参画推進事業:7,412			H31目標(実績)	H30	
						目標値(H33)	H31	A

IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	<p>◆子宮がん検診 対象者 61,242人(平成30年4月1日時点の人口) (厚生労働省の指示により、平成28年度分から20歳以上の女性の人口が分母に変更となりました。)</p> <p>受診者 集団 297人 個別 1,911人 合計2,208人</p>	事業費	<p>H31年度 実施予定事業</p> <p>実施期間 個別検診:平成31年6月3日～平成32年3月31日 実施回数 集団検診:4回/年(うち、休日実施2回)</p>	子宮がん検診(集団・個別)受診率	保健センター	
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			(千円)				
	①年齢に伴い変化する生活環境・身体状況に応じた健康づくりのための支援			予算(H31)				
	具体的施策			H30年度実績評価・31年度の課題等				成人保健健康診査事業: 267,297
				健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。				決算(H30見込)
		平成30年度の受診者数は、前年度に比べて増加しました。平成31年度も受診者数を増やすべく、集団検診の実施回数を増やし、各がん検診を併せて実施する健診DAYを設けるなどの受診しやすい環境づくりや受診を促がすPRを積極的に実施していきます。	成人保健健康診査事業:258,631					
				H30実績	男女共同参画の視点	3.6(%)		
				H31目標(実績)	H30	3.9(%)	C	
				目標値(H33)	H31	13.0(%)	C	
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	<p>◆乳がん検診(マンモグラフィ) 対象者 44,449人(平成30年4月1日時点の人口) (厚生労働省の指示により、平成28年度分から40歳以上の女性の人口が分母に変更となりました。)</p> <p>受診者 集団 1,040人 個別 1,003人 合計2,043人</p>	事業費	<p>H31年度 実施予定事業</p> <p>実施期間 個別検診:平成31年6月3日～平成32年3月31日 実施回数 集団検診:12回/年(うち、休日実施2回)</p>	乳がん検診(集団)受診率	保健センター	
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			(千円)				
	①年齢に伴い変化する生活環境・身体状況に応じた健康づくりのための支援			予算(H31)				
	具体的施策			H30年度実績評価・31年度の課題等				成人保健健康診査事業: 267,297
				健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。				決算(H30見込)
		平成30年度の受診者数は、前年度に比べて減少しました。減少原因を分析し平成31年度は受診者数を増やすため、各がん検診を併せて実施する健診DAY等を実施するなど受診しやすい環境づくりや、受診を促がすPRを積極的に実施していきます。	成人保健健康診査事業:258,631					
				H30実績	男女共同参画の視点	4.6(%)		
				H31目標(実績)	H30	5.0(%)	C	
				目標値(H33)	H31	15.0(%)	C	
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		H31年度 実施予定事業		数値目標	所管課	
基本目標	施策の方向	実績	<p>◆市民が運動を始めるきっかけ作りとして、スポーツ教室や健康セミナー等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デーテニス(延べ772回 延べ7,146人受講) ・親子対象(66回 144組受講) ・子連れ対象(18回 47人受講) ・こども対象(30回 95人受講) ・一般対象(36回 111人受講) 	事業費	<p>H31年度 実施予定事業</p> <p>◆引き続き、ニーズに合わせたスポーツ教室等を実施し、運動する機会の充実を目指す。</p> <p>◆親子対象としながら、平日開催の場合、母親の参加となる。父親の参加を見込むため、土日開催を検討する。</p> <p>◆受講者等に男女共同参画講座等のチラシを配布し周知を図る。</p>	—	まなび創造館	
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			(千円)				
	①年齢に伴い変化する生活環境・身体状況に応じた健康づくりのための支援			予算(H31)				
	具体的施策			H30年度実績評価・31年度の課題等				スポーツセンター運営事業: 63,060
				健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。				決算(H30見込)
		◆応募組数に定員が満たなかった期があり、申込方法に工夫が必要である。	スポーツセンター運営事業: 61,429					
		◆申込方法を往復はがきだけではなく、ファックスやメールでの申し込みも可能とし、受講者の利便性を図る。						
		◆教室の内容が分かりにくい教室名は分かりやすくする。						
		◆対象を親子としながらも平日開催で母親の参加になっているため、父親も参加できるよう、来年は土日にも開催する。						
				H30実績	男女共同参画の視点	—		
				H31目標(実績)	H30	—	B	
				目標値(H33)	H31	—	B	

IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課				
基本目標	施策の方向	実績	各種スポーツ教室を開催します。 ◆各種スポーツ振興事業及びスポーツ教室等の実施 ・親子ふれあい体操教室【男女の内訳 女:160人】(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期 各8回 160組受講) ・小牧市シルバースポーツ大学【男女の内訳 男:15人、女:25人】(19回 40名受講) ・ノルディックウォーク講習会【男女の内訳 男:14人、女:32人】(2回 46名受講) ・アクアピクスを含む水泳教室【男女の内訳 男:743人、女:1,762人】(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ期 計904回 2,505名受講) ・レクリエーションスポーツ普及・振興事業(体協事業)(13校区 1,701人)	事業費	男女ともに参加できるスポーツ教室などを実施することで、より多くの市民がスポーツに親しめるようにする。	各教室の参加人数	スポーツ推進課				
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			予算(H31)							
	①年齢に伴い変化する生活環境・身体状況に応じた健康づくりのための支援			生涯スポーツ推進事業:340 スポーツ教室開催事業:1,556 体育施設管理委託事業:11,010							
	具体的施策 健康相談・健康教育等を行うことで、市民の主体的な健康づくりを支援し、健康寿命の延伸を図ります。生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための学習や活動の機会の拡充に努めます。			H30年度 重点目標取組内容実績				決算(H30見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点
				H30年度実績評価・31年度の課題等				生涯スポーツ推進事業:155 スポーツ教室開催事業:1,310 体育施設管理委託事業:11,010	◆スポーツ振興事業及びスポーツ教室開催事業を実施する。	H31目標(実績)	H30
										4,225人	B・F
				目標値(H33)	H31						
				1%増	B・F						
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度事業実績		事業費	H31年度 実施予定事業	数値目標	所管課				
基本目標	施策の方向	実績	◆母子保健推進協議会4回 ◆自己肯定感獲得DVDを市ホームページ上で動画配信 ◆自己肯定感を獲得するための出前講座:2回 ◆小牧市内の中学1年生と高校1年生に「安心相談カード」配布 ◆生と性に関するカリキュラムを実施(再掲)	(千円)	◆母子保健推進協議会4回 ◆自己肯定感獲得DVDを市HP上で動画配信 ◆自己肯定感を獲得するための出前講座の周知 ◆小牧市内の中学1年生と高校1年生に「安心相談カード」配布 ◆生と性に関するカリキュラムを実施(再掲)	自分自身を好きと言える市民の割合	保健センター				
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			予算(H31)							
	②女性の身体への自己決定権の尊重			母子保健:154 生と性育み推進:479							
	具体的施策 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)の理念について啓発し、周知を進めることで、妊娠/出産等に関する女性の自己決定権を尊重する意識の浸透を図ります。			H30年度実績評価・31年度の課題等				決算(H30見込)	H30実績	男女共同参画の視点	
				引き続き生と性のカリキュラムを推進し、大人においても自己肯定感を育めるよう出前講座などの案内を図っていきます。				母子保健:147 生と性育み推進:332	H31目標(実績)	H30	
										80.0(%)	A
				目標値(H33)	H31						
				80.0(%)	A						
IV安心して暮らせる環境づくり		H30年度 重点目標取組内容	その他 H30年度事業実績	事業費	重点目標	数値目標	所管課				
基本目標	施策の方向	実績	1人30分という制約はあるが、女性の専門職が傾聴し、適切な判断、アドバイスを行う。 年間相談件数(来室者):1件 電話相談:4件	(千円)	—	—	市民病院				
	3 生涯を通じた健康づくりのための支援			予算(H30)							
	③性差医療(男女の性差を考慮した医療)の充実			—							
	具体的施策 女性専用相談室において女性が相談しやすい環境づくりに努めます。			H30年度 重点目標取組内容実績				決算(見込)	H31年度 実施予定事業	H30実績	男女共同参画の視点
				女性の専門職が適切な対応を行った。						H31目標(実績)	H30
										—	A
				目標値(H33)	H31						
				—	—						